

2月のどきどき

手作りリンクを疾走

町内4つの小学校の中で唯一グラウンドにスケートリンクを作る安平小学校で、1月31日校内スケート大会が開催されました。

競技開始から、終了までの約1時間半の間に児童1人が2、3種目に出場するという強行スケジュールにもかかわらず、懸命にゴールを目指す児童たち。保護者らからたくさんの声援が送られていました。



癒しのひととき

2月7日、追分公民館でロビーコンサートが開催されました。

フリーマーケットやアイスキャンデルの点灯式の後コンサートが開演。5組の出演者によって素晴らしい演奏が披露されました。美しい音色と、アイスキャンデルの優しい光に包まれ、来場者にとっても心が癒された1日となったのではないのでしょうか。

針金一本が工芸品に

町内のワイヤーアート製作グループMoral Sense新（とんぼの会 道新治代表）の招きで来町した金沢市の工芸作家中山明美さんが、2月20日、ケアハウスサツクルで製作教室を開催。入所者、利用者ら22名が集まり、カードスタンドやとんぼのブローチ作りに挑戦しました。ブローチを手に満足げな表情を見せながら、互いの作品を褒め合う様子が見られ、楽しい時間となったようです。



全国2位の好成績

2月3日、第35回全国中学校アイスホッケー大会に出場した町立早来中学校アイスホッケー部の3名



（佐々木隆弥君、前田泰良君、米津優風君）が瀧町長を訪問。

開成中学校と和光中学校（両校苫小牧市）との合同チームで出場し、準優勝という輝かしい結果を報告しました。

楠野公夫氏

道産業貢献賞を受賞

氏は、平成8年以来、農業委員会委員、会長として農地行政の適正な執行と農業委員会の円滑な運営に務め、地域農業の振興に尽力されてきたことが評価されての受賞となりました。



安平町和牛生産改良組合が平成26年度和牛改良組合表彰を初受賞

同組合は、分娩間隔実績値の部で組合内供用中雌牛の平均分娩間隔が、全国平均より約18日間短い期間での分娩により767頭を生産。全国7位に初入賞しました。



東北・道選抜大会で快挙

昨年12月20日、21日に秋田県大館市で開催されたソフトテニスの第14回クリスマス



マスカップ東北・北海道選抜中学生大会に出場した中道結愛選手（追分中2年）と浪岡菜々実選手（登別西陵中学校）が女子個人戦で優勝しました。

苫小牧民報の取材に応える中道選手